

表1. 2019/2020シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2020/06/30, 2020/07/27修正

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬			M2阻害薬	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬			M2阻害薬	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	1 ^a (0.13%)	38 ^b (1.6%)	38 ^b (1.6%)	0	0	46 (100%)	0	0	0	0	0	13 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	790	2,427	2,427	333	333	46	63	65	65	65	65	13	86	97	97	97	97
分離・検出報告数	4,951						122						664				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

^a うち薬剤未投与例 1

^b うち薬剤未投与例 26、薬剤投与例 11、不明 1